

お申込みについて

定員になり次第、申込受付を終了します。お早めにお申込みください。

1



パソコン(各種検索サイト)からダイレクトで

JMA マネジメント必須講座

または

セミナーID(半角数字)

JMA 100108

で検索

もしくは、<https://school.jma.or.jp/>

2



スマートフォン・
タブレットから



※貴社の情報セキュリティ方針等でwebからのお申込みが難しい方は、JMAマネジメントスクールまでお電話(03-3434-6271)にてお問合せください。

参加料(消費税込) ※本事業開催最終日の消費税率を適用させていただきます。

日本能率協会法人会員	宿泊無	149,600円／1名
	宿泊付	162,800円／1名
上 記 会 員 外	宿泊無	176,000円／1名
	宿泊付	189,200円／1名

※宿泊の有無を選択できます。宿泊付コースには、13,200円(税込)〔宿泊費、朝食費〕が含まれます。
※テキスト(資料)費・昼食費が含まれております。
※法人会員ご入会の有無につきましては、下記HPにてご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>

会員制度のご案内

小会は法人を対象とした会員制度を設けセミナー参加料割引をはじめ各種サービスを提供しております。詳しくは関西事務所までお問合せください。

キャンセル規定

参加者のご都合が悪い場合は、代理の方がご出席ください。代理の方もご都合がつかない場合は、下記の規定によりキャンセル料を申し受けますので予めご了承ください。

開催15日前(開催初日を含まず起算)～開催8日前	参加料の10%
開催7日前(開催初日を含まず起算)～前々日	参加料の30%
開催前日および当日	参加料全額

(万ーキャンセルの場合は必ずメールあるいはFAXでご連絡ください。)

ご注意

- 参加申込規定はお申込ページにごございますので、ご確認・同意の上、お申込ください。
- 同業他社からのご参加はお断りする場合があります。
- 参加者数が最少催行人数に達しない場合は、延期もしくは中止にさせていただきます。

申込に関する問い合わせ先

参加証・請求書、キャンセル・変更 等

JMAマネジメントスクール TEL:03(3434)6271

〈電話受付時間〉月～金曜日 9:00～17:00 ただし祝日を除く

メール:seminar@jma.or.jp FAX:03(3434)5505

プログラムに関する問い合わせ先

プログラム内容、講師派遣、会員入会 等

本研修は、各社に講師を派遣して社内研修として開催できます。研修プログラムは、各社の希望に合わせてカスタマイズしますので、社内研修をご検討の方はお気軽にお問合せください。

一般社団法人日本能率協会 関西事務所

TEL:06(4797)2050(代表)／メール:jma-kansai@jma.or.jp

参加企業一覧

(2018～:順不同)

株式会社AOI Pro.
JMACS株式会社
NCS&A株式会社
株式会社NEXT
NISSHAエフアイエス株式会社
NPAエンジニアリング&メンテナンス株式会社
NSハートフルサービス関西株式会社
TC神鋼不動産建設株式会社
株式会社あじかん
味の素ベーカーリー株式会社
株式会社アッシュホーム
穴吹興産株式会社
あなぶきヘルスケア株式会社
イーストプランニングジャパン株式会社
株式会社井筒屋
因幡電機産業株式会社
株式会社うおいち
株式会社魚国総本社
株式会社エヌ・シー・ゼット
株式会社エフ・ジェイホテルズ
株式会社エム・アール・ビー
学校法人大阪キリスト教学院
岡本株式会社
オリンパスマーケティング株式会社
鹿島建物総合管理株式会社
カジマメカトロエンジニアリング株式会社
川崎重工業株式会社
関西設計株式会社
株式会社キッツ
九州指月株式会社

極東開発工業株式会社
株式会社クリエアナブキ
クリエイト株式会社
株式会社クリエイト兵庫
コウノイケ・エアポートサービス株式会社
株式会社ゴーリキ
三協立山株式会社
株式会社シーイーシー
株式会社シーテック
株式会社ジェイアールシステム・エンジニアリング
株式会社ジェイアール東海高島屋
株式会社ジェイテクトプレジジョンベアリング
株式会社ジェーシービー
滋賀トヨベツ株式会社
株式会社指月電機製作所
株式会社ジャクエツ
神栄株式会社
株式会社スギ薬局
スベラファーマ株式会社
住友生命保険相互会社
セイコー化工機株式会社
積水化成成品工業株式会社
株式会社積水化成成品西部
積水ハウス株式会社
センカ株式会社
株式会社ソルコムマイスタ
ダイハツディーゼル株式会社
ダイワ運輸株式会社
タカラ物流システム株式会社
株式会社ただてん

株式会社立花エレテック
田中貴金属工業株式会社
田辺三菱製薬株式会社
デクトリスジャパン株式会社
株式会社テストパル
東海エレクトロニクス株式会社
株式会社東海理機
東洋紡株式会社
長瀬産業株式会社
日東電工株式会社
日本ジョン・クレーン株式会社
日本ハム株式会社
能瀬精工株式会社
ピオフェルミン製薬株式会社
株式会社東テストパル
社会福祉法人福祥福祉会
株式会社福屋ライフサービス
富士ケミカル株式会社
ブンセン株式会社
星金属株式会社
株式会社ボックス・ワン
マクセル株式会社
マツダロジスティクス株式会社
丸大食品株式会社
株式会社南テストパル
山口アースエンジニアリング株式会社
株式会社山田利
株式会社湯山製作所

※社名は当時の参加者の会社名です。

2024年 大阪開催

取締役・執行役員・経営幹部に必須の知識を
2日間に集約したプログラム

経営幹部のための マネジメント必須講座

リスクマネジメント

経営戦略

リーダーシップ

財務・会計

会 期

2024年 7月17日(水)～18日(木)
2024年 11月 6日(水)～ 7日(木)

会 場

クロス・ウェーブ梅田(大阪市北区)

参加対象

新任の取締役や執行役員の方、役員候補の方
事業部長などの経営幹部の方
経営者として必要な基礎知識を改めて学びたい方



経営革新を推進する
一般社団法人日本能率協会

日本能率協会ではトップマネジメント(取締役・執行役員・経営幹部)の経営力向上が、企業活力や競争力向上のための最重要課題であるとの認識に立ち、トップマネジメント対象研修を40年以上にわたって実施してまいりました。**これまで10,000名を超える役員・経営幹部の方々が学ばれています。**

加速度的に変化する経営環境において迅速な経営判断が求められる一方、企業活動に対する社会の眼は日に日に厳しくなっており、トップマネジメントには、より一層の高い使命感・倫理観が求められています。また、グローバル化や社員の価値観・就業形態の多様化が進む中、明確なビジョンを組織に浸透させ実現する高いコミュニケーション能力や、組織・人材に対する深い洞察が必要です。

そのため、経営幹部としての考え方や役割についての認識を新たにするとともに、これからのマネジメントに必要な知識とスキルを、今改めてしっかりと身につけておく事が重要です。

本講座は、**取締役・執行役員・経営幹部に必須の知識**である、「リスクマネジメント」「リーダーシップ」「経営戦略」「財務・会計」のエッセンスを**2日間で集中して学んでいただくプログラム**です。

1日目 [9:30～19:00]

9:30

Ⅰ オリエンテーション(経営幹部に求められる役割と責任)

これからの経営者・幹部に求められる役割と責任について認識を深めます。

9:45

Ⅱ 内部統制と全社的リスクマネジメント

コーポレートガバナンスコードでは取締役会の責務として内部統制と全社的リスクマネジメント体制の整備が明記されています。当然、経営者・幹部全員の責務として必須事項となります。そこで、従来の安全管理やBCP等との違いを理解し、事業機会リスク、事業活動リスク、上場リスクなどサステナビリティ、TCFD、さらには近年の企業不祥事の深層原因の考察と参加者同士の討議を交えながら、自社の内部統制力と全社的リスクマネジメント力を高め、企業文化、組織風土の醸成を担う経営者・幹部として行動規範を磨きます。

内部統制と全社的リスクマネジメント(ERM)

- 企業成長ステージに応じたリスクの体系(事業機会、事業活動、上場)
- ハザード、インシデント、クライシスマネジメント、危機管理との関連
- サステイナビリティ、TCFDリスク、グローバルリスク
- 全社的リスクマネジメントのプロセス、実践レベル

最近の企業不祥事の事例から何を学ぶか

- 企業不祥事の種類(過失と不正、自己利益が組織保身か等)
- 会計不正(製造業、流通業等)、品質不正等の事例と深層原因
- 企業不祥事の根底にある組織的認知バイアス、日本語文化の弱み
- 第三者委員会の設置と対応～膿を出し切るために～
- 従業員をどう動機付け、再生と信頼回復を図るか

経営会議の運営

- 制度導入だけでは企業文化、組織風土は変わらない
- 経営会議にどう臨むか、CEOとどう対峙するか(歴史から学ぶ)
- 株主、取締役のグローバル化への対応(語学よりも重要なこと)
- 人生100年時代を迎えて 等

13:00

昼食 (13:00～14:00)

14:00

Ⅲ リーダーシップの理論と実践を結びつける

理論を知らなくてもリーダーシップを発揮することは可能ですが、実践知と理論知を結びつけることでより最適なリーダーシップの発揮につながります。この講座では、リーダーシップの基礎概念から実践につながる諸理論を解説します。

リーダーシップとは何かー学術的観点から

- リーダーシップの学術的定義
- リーダーシップは才能で決まるのか
- リーダーシップとパワー(影響力)
- リーダーシップの行動特性
- リーダーシップとマネジメント
- リーダーシップ・パラダイムの変遷

トップに求められるリーダーシップ

- 使命と価値観の浸透
- 次世代リーダーの育成
- ビジョンの構築と表明
- リーダーシップ持論の確立
- 変革の主導
- 管理者行動論からの知見

17:15

17:30

● 経営幹部のためのマネジメント懇談会

- ・ 経営者・ゲスト講演(経営者の実体験に基づき講演いただきます。)
- ファシリテーター:星野講師

19:00

19:10

● 参加者交流・懇親会

先読みのリスクマネジメントが
サステナブルな
企業価値創造を実現します



星野 芳昭

株式会社スター・ガバナンス
代表取締役
ガバナンスコーチ

講義Ⅰ担当

講師プロフィール(順不同・敬称略)
慶應義塾大学商学部卒業、大手マネジメントコンサルティング会社にて約30年間、企業の業務改革、組織改革、業績評価制度、マネジメントサイクル定着化等に取り組む。その後、独立し、主に上場企業の内部統制、リスクマネジメント、組織風土改革を主に経営調査、ガバナンスレビュー、幹部研修及びコーチング等を主に上場企業で展開。最近では人的資本投資のアウトカム目標設定や評価にも関わる。
2023年より本講座の履修生を対象にしたマネジメント懇談会のコーディネーターを務める。

実践的リーダーシップを
一緒に考えましょう



小野 善生

滋賀大学経済学部
教授

講義Ⅱ担当

講師プロフィール(順不同・敬称略)
フォロワーの視点からリーダーシップを明らかにする研究に取り組んでおり、「リーダーシップの役割分担とチーム活動活性化の関係についての考察～エーザイ株式会社アルツハイマー型痴呆症治療薬「アリセプト」探索研究チームの事例より～」にて、2005年度経営行動科学学会賞優秀事例賞受賞。
主要著書:『ライトワークスビジネスベーシック シリーズ リーダーシップ』(ファーストプレス)、『まとも役になれる! リーダーシップ入門講座』(中央経済社)等

参加者の声

- 企業の経営者として必要な思考・マネジメントが2日間に凝縮されており、新しく経営幹部となられた方におすすめです。
- 今までの経験からなんとなく感じていたことを、体系的、論理的に学ぶことができて大変良かった。
- 役員になって意識改革が必要だと感じていた中、基本部分と要点が2日間でカバーできており、また実例による説明が非常に役に立った。
- 経営者側になられる方、なった方には、考え方や会社全体、会社を取り巻く環境への見方が変わるので、ぜひ受講をおすすめします。
- テーマとしては経営幹部になるまでに一度は学んでいるテーマが多いが、豊富な事例とともに、要点がまとまっているため、理解の深化や最新の潮流を知るために役立った。
- 主に人事の経験しかなく、経営幹部として全般を理解する必要に迫られたケースでは、全てが明日から役立つ内容でした。



研修風景

2日目 [9:30～17:00]

9:30

Ⅳ 競争優位の経営戦略と事業創造

全体最適・将来最適を見据えながら、成長分野への投資など新たな打ち手とともに、構造的に変革していかなければなりません。限られた経営資源の配分と有効活用を考え、優先順位を決断する。本セッションでは、事業と経営戦略で役員に求められる視点を学びます。

経営戦略とリンクした事業創造

- 価値観とステークホルダー戦略:経営戦略の前提
- ビジョンと経営戦略:戦略的視点の重要性
- ドメインの定義
- 経営戦略と資源
- 競争優位の戦略
- 戦略策定のプロセス
- 事業創造の戦略

ビジネスモデルの考え方

- ビジネスモデルの意義
- ビジネスモデルの構造
- ビジネスモデルの編成原理

12:45

昼食 (12:45～13:45)

13:45

Ⅴ 財務・会計の重要ポイント

企業の持続的成長と企業価値向上のために「コーポレートガバナンス・コード」では、自社の資本コストとKPI(重要業績評価指標)の開示が求められています。KPIと資本コストは、経営幹部として適正な経営判断や意思決定を行う上でも重要であり、その正しい知識と実践に向けて分かりやすく解説します。

利益測定の誕生から現在の財務報告制度まで

- 利益測定の重要性
- 企業会計をめぐる3つの法律
- 会計の政治化・国際化・電子化

KPIと資本コストのイントロダクション

- 資本コストの把握とKPIの開示要求
- 積極的な開示例
- 日本企業と投資家の認識ギャップ

KPIと資本コストの考え方と実践

- KPIと資本コストはなぜ重要か?
- 代表的な収益性尺度:ROEとROA
- 近年注目されているROICとは?
- 資本コストの理論と実践

企業価値評価の実践

- 各種企業価値評価モデル
- 割引キャッシュフロー法(Discounted Cash Flow Model)
- 配当割引モデル(Discounted Dividend Model)
- 残余利益モデル(Residual Income Model)
- 残余利益モデルの実践

17:00

経営者に必須な数字を
わかりやすく説明します



石川 博行

大阪公立大学大学院
経営学研究科 教授

講義Ⅳ担当

講師プロフィール(順不同・敬称略)
神戸大学経営学部卒業、神戸大学大学院経営学研究科博士課程後期課程修了、博士(経営学)、大阪市立大学商学部専任講師、大阪市立大学大学院経営学研究科准教授を経て、2009年より現職。
研究テーマ:会計情報を用いた企業分析と企業評価。企業活動が会計報告書にとりまとめられるプロセスと、それが株式市場に伝達されたときの経済的効果に関する理論的・実証的研究。配当や自社株買いといった株主還元の意思決定と、それらのペイアウトが株式市場にどのような影響を与えているのかについての理論的・実証的研究。
主要著書:『配当政策の実証分析』、『株価を動かす配当政策 コロケーション効果の実証分析』、『会社を伸ばす株主還元』等